

## Event Schedule

4 April	4月1日(火)~4月7日(月)	開講式・新入生ガイダンス[教]
	4月2日(水)~4月5日(土)	学生定期健康診断(2号館)[学] ※4月3日(木)は新入生のみ(学年・学科・性別等によって日程が異なります)
	4月3日(木)	新入生歓迎会・サークル勧誘企画(本館)[学]
	4月3日(木)~4月5日(土)	日本学生支援機構奨学金(予約採用)説明会[学]※高校で予約申請し進学届の手続きをする者
	4月8日(火)	入学式(日本武道館)
	4月9日(水)	平成26年度前学期授業開始[教]
	4月14日(月)~4月18日(金)	サークル新入部員募集(6号館)[学]
		図書館オリエンテーション[図]
	4月14日(月)~4月25日(金)	各学生研究室説明会[工]
		課外講座個別説明会(司法書士, 行政書士, 宅地建物取引主任者, 簿記, ファイナンシャル・プランニング技能士, 公務員, 秘書技能検定)[工]
	4月17日(木)~4月23日(水)	履修登録期間(前学期開講科目及び通年開講科目)[教]
	4月上旬	日本学生支援機構奨学金(在学採用)説明会[学]※これから奨学金を申し込む者
	4月中旬	Westlaw(オンラインデータベース)利用講習会[図]
		日経BP記事検索サービス(オンラインデータベース)利用講習会[図]
4月下旬	JURIS・GRUR plus(オンラインデータベース)利用講習会[図]	
	D1-Law.com(オンラインデータベース)利用講習会[図]	
5 May	5月6日(火)	みどりの日振替休日は、通常どおり授業を実施[教]
	5月19日(月)~5月20日(火)	履修登録中止期間(前学期開講科目及び通年開講科目)[教]
	5月中旬	第1回総合就職ガイダンス[就]
	5月下旬	インターンシップガイダンス[就]
就職マナーガイダンス[就]		
6 June	6月上旬	健康診断結果送付[学]
7 July	7月21日(月)	海の日、通常どおり授業を実施[教]
	7月23日(水)~7月24日(木)	補講期間[教]
	7月25日(金)~8月5日(火)	前学期特別授業期間[教]
8 August	8月6日(水)	夏季休業開始
	8月25日(月)~8月26日(火)	前学期末追試験[教]
	8月下旬~9月上旬	第45回法学部海外研修旅行(アメリカ)[学]
9 September	9月15日(月)	夏季休業終了

各項目についての不明点等は、各担当部署にお問い合わせください。また、略字は次の通り。  
[教]教務課 [学]学生課 [図]図書館事務課 [工]エクステンションセンター [就]就職指導課  
※日時や詳細が決まり次第、掲示板およびホームページにてお知らせします。

# 日本大学法学部 Journal Vol.12



[www.law.nihon-u.ac.jp/](http://www.law.nihon-u.ac.jp/) 詳細情報は、随時掲示板およびホームページを見て確認してください。

日本大学法学部 Journal Vol.12 2014年4月1日発行 日本大学法学部広報 通巻120号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会



在学生が学生目線でナビゲート

# 法学部「キャンパス発見ツアー」

ガイダンスやオリエンテーションとはひと味違う、在学生によるキャンパスナビ。あくまで「学生目線」でキャンパスの使いこなし術を伝授します。新入生も、今さら聞けない...と思っている上級生もキャンパスライフの参考に。



**01**  
待ち合わせ、  
談笑スポット

●6号館  
学生の自主活動のために使用される施設。音楽室、道場、トレーニングルームなど。

**02**  
予習、復習、  
自習スポット

●11号館

●10号館  
待ち合わせにおすすめの2階ホール。自習や談笑には各階の端にあるラウンジや学生ホールを。屋上テラスは開放感いっぱい。

**05**  
寂しいときの  
「触れ合い術」

●3号館  
10号館とともにJR水道橋駅から徒歩5分の校舎。3階の「産しの庭」が隠れた人気スポット。資格取得に興味のある人は3号館へ。



●本館  
1階学生ホール、事務局をはじめ、講堂・大講堂のあるキャンパスの中心となる建物。リニューアルした地下の学生食堂が話題。

**04**  
リニューアルした  
話題の本館学食

●4号館  
教員研究室棟。

●8号館  
学生研究室棟。

●2号館  
講堂、法学研究科共同研究室、新聞学研究科共同研究室、知的財産研究科共同研究室など。

●9号館  
教員研究室棟。

**06**  
授業や自習に  
疲れたら...

●図書館  
日本大学法学部のランドマーク。本や資料を探しに、調べものに、新聞や雑誌を読み、パソコンを使い、毎日利用する人も多い。

**03**  
ここは静けさが  
守られている空間

●7号館  
教員研究室棟。



ナビゲーター  
宮壽美夏さん(左)  
金崎 亮さん(右)



みつけよう。  
待ち合わせ&  
学習スポット

# 街中に点在する三崎町キャンパス 目的別に「居心地のいい場所」はどこ？

たとえば授業と授業の間をどこで過ごすか、騒がしくなく、かといって静かすぎない自習スペースはあるのか、サークルではなく個人で待ち合わせたり談笑したりするときに「居心地のいい」場所とは。ひとくりに「学生ホール」や「ラウンジ」という名称だけではわからない、先輩たちだからこそ教えられるスポットを案内します。どうやら、法学部の学生らしく、ルールを守りつつも、「邪魔されない、邪魔しない」場所を棲み分けているようです。

## 01 待ち合わせ、談笑スポット



**宮崎** 三崎町キャンパスには学生が利用できる場所がたくさん点在しているから、入学したての頃はうろうろしちゃうかもしれません。待ち合わせ場所のイチ押しは、広くてテーブルの数も多い「本館学生ホール」でしょう。



本館学生ホール

**金崎** リニューアルが終わってきれいになったばかりなんですよね。リニューアル前からテーブルごとに、サークルやゼミで集まる場所がだいたい決まっていたみたいです。

**宮崎** そうそう、ここで待ち合わせて、それからサークルごとの活動場所へ行くというのが一般的。

**金崎** でも、時間帯によっては席が埋まっていることが多いから、個人で待ち合わせる場合は掲示板の前あたりで待ち合わせていますよね、みんな。こんな感じです(笑)。

**宮崎** 私は「図書館の前のベンチ」もよく使います。外は気持ちがいいし…。どちらかというと女子に人気みたい。

**金崎** 僕の入っているバドミントンサークルは、「10号館2階ホール」が待ち合わせ場所に決まっています。就職相談コーナーがあるから、上級生になるとより身近になる場所ですね。あと10号館の向かい、「3号館の1階学生ホール」も人気。正面から入って左側と右側にスペースが分かれていて、左側はサークルとか団体が多く、右側は個人が多いようです。

**宮崎** 面白いですね。待ち合わせる人数やその後の活動場所によって、自然と居心地のいい場所が決まってくる。キャンパス内ではないけれど、私は街のカフェでもよく友だちと待ち合わせします。水道橋、東口のマックや西口に最近できたドトールは広くて環境もよくておすすめです。



3号館1階の学生ホール(左手側)



3号館1階の学生ホール(右手側)

## 02 予習、復習、自習スポット



**宮崎** 法学部の「図書館」は、平日は朝9時から夜10時まで開いていますし、土日も開館しているので(土曜日朝9時～夜9時、特定の日曜日朝9時～夜6時)、基本的には図書館を利用するのが一般的。でも、ひとりで勉強するか、ゼミなどグループで勉強するかによって、図書館と図書館以外の場所を使い分けている人が多いと思います。

**金崎** 僕は図書館派なので、ほぼ毎日、ひとりでいるときは図書館にこもっています。図書館内は私語禁止なので、し～んとした静かな雰囲気苦手という声も聞きますが、僕はまったく平気…というかもむしろ好きな方です。グループで討論したり勉強したりするときには、「図書館1階の談話ラウンジ」や



広く明るい図書館の閲覧室



10号館の奇数階にあるラウンジ

「10号館の2階ホール」を使います。

**宮崎** 図書館は飲食ができないので、「10号館の奇数階にあるラウンジ」がお気に入りの人もいます。

自販機があるし、ひとりでノートパソコンを使っても、2人くらいでおしゃべりしていても、あまり周囲を気にしなくていい雰囲気。かといって、本館の学生ホールほど騒がしくなくて、ちょうどいい静けさ。図書館より少し「ゆるい」感じがいいなというときにはおススメです。

**金崎** あと、広すぎないのもいいのかもしれない。10号館の奇数階はラウンジだけど、偶数階は自販機がない学生ホールになっていて、ここもゼミのグループワークなどに使われています。



ナビゲーターの金崎 亮さん。  
経営法学科 2年





活用しよう。  
法学部図書館 &  
近隣図書館

## 日本大学法学部のランドマーク 法学部図書館の使いこなし術, 教えます。

日本大学法学部で自慢の場所は? と聞かれて、多くの学生が「図書館」と胸をはるようですが、最近、図書館が行ったアンケートによると、1週間に1回以上は利用している人が7割いる一方で、試験期間しか利用したことがない・ほとんど利用しないという人も約3割にのぼるそうです。より集中できる「個人閲覧ブース」やお宝と対面できる「展示ギャラリー」など、上級生でも案外知らないスポットを中心に、われらが図書館をナビゲートします。

### 03

## ここは静けさが守られている空間



金崎 図書館の事務課の方の話によると、「**法学部図書館**」は一日平均2,000人もの方が利用していて、試験期間になると3,500人の出入りがあるそうです。時間帯によってはすごく混むので、比較的空いている午前中に利用するか、休み時間を避けて授業と授業の間に入館するとか、ちょっとした工夫で快適に利用できると思います。



宮崎 図書館は私語厳禁。どこの図書館も建て前はそうだと思いますが、町の図書館などはわりとザワザワしている。でも、法学部図書館は

本当に静かですね。みんなルールを守っていますね。私はどちらかというと、ちょっと雑音があった方が集中できる方ですが、静けさがきちんと守られている環境も貴重だと思います。

金崎 3階から6階まで、「**リフレッシュコーナー**」があるのも魅力です。ここは飲み物(蓋付き容器入り飲料)がOKなので、ちょっと一服したいときに行きます。



談笑できるリフレッシュコーナー。ただし大声はNG

宮崎 私は図書館で友だちにばったり会って、少し話したいなというときに利用します。明るくて気分がいいですね。

金崎 各階に「**個人閲覧ブース**」があるのを知ってました?

宮崎 1階の受付カウンターで申し込んで、空いていれば3時間単位で使えるんですよ。ブース内にパソコンとプリンターがあるので、「印刷を急いでいるときに便利だった」とゼミの先輩が話していました。それから、私は法学部図書館以外に、「国立国会図書館」や「日比谷図書館」にも行くことがあります。どちらも近いですし、区立の図書館なら、千代田区在学生の私たちも貸し出しカードが作れます。



3階~7階にある個人閲覧ブース

## お宝や図書情報を見逃さないで

宮崎 実は今回ナビゲーター役になって、法学部図書館内に私たちが知らない「謎の場所」があると知りました。1階ロビー横の、おしゃれな椅子があるブラウジングコーナー(雑誌などをパラパラめくって閲覧できる場所)の、さらにその奥! 法学部図書館所蔵のお宝を鑑賞できる「**展示ギャラリー**」です。

金崎 壁際ガラスケースに入っているのは、常設展示のもので、著名な法学者や政治学者、経済学者の名著などだそうです。手前のガラスケースは企画展示で、法学部所蔵の貴重書や特別



所蔵の貴重書を鑑賞できる展示ギャラリー

書のコレクションが、ときどき入れ替えられているそうなので、僕もこれからは立ち寄ってみようと思います。図書館のホームページや「ライブラリーニュース」

(エレベーター前のラックなどに載っている)のでチェックするといいいね。

宮崎 入館ゲートの右手の壁面に、「**新着図書紹介掲示板**」ができていますね。本の表紙(カバーや帯)がそのまま貼り



図書委員の先生ご推薦の新着図書ボード

付けてあるからわかりやすい。図書委員の先生の推薦コメントを読むだけでも、学習やレポートのネタ探しにいいかも。撮影しながら、へえ〜と見入ってしまいました(笑)。

金崎 新入生は4月に図書館のオリエンテーションを受けるけど、2年以上になると、図書館の使い方わからないことがあったとしても「今さら聞けないし…」みたいな気になる人が多いと思う。でも、4月のオリエンテーションは新入生じゃなくてもOK

だそうだから、法学部自慢の図書館を活用しきれないと感じる人は、参加してみるのもいいよね。図書館員さんによる「レファレンスサービス」も積極的に活用してほしいそうです。

お宝を  
誌上公開



古くは1400年代のものから、貴重なコレクションが大切に保管されている地下1階「貴重書庫」。現在、こうした貴重書の電子化が進められています。本にはさんであるしおりは、そのバーコード。厳重な防火トビラがコレクションを護ります。

### 法学部図書館をもっと知る3か条

- 1 ライブラリーニュースをゲットしよう  
(エレベーター前のラックにもあります)
- 2 レファレンスサービスを利用しよう  
(つまり、図書よろず相談のこと)
- 3 上級生は「今さら聞けない…」という  
気持ちを捨てよう  
(図書館オリエンテーションに参加して?)



探してみよう。  
ガフシヨク&  
癒しスポット

# 最初は先輩も感じた“ぽつんと感” ここへ行けば触れ合える, 癒される!

あとになって聞いてみれば、「なんだ、みんな最初はそうだったんだ…」という、入学したての不安や疑問や焦燥感や孤独感……。ここでは、そんな気持ちを実感した私たちだから案内できるさまざまな触れ合い・癒しスポットを紹介します。せっかく長い時間を過ごすキャンパスだから、自分にとって快適な場所をみつけてほしいし、そこでの何気ない触れ合いから、SNSからは得られない情報が得られたりもすると思いますよ。

## 04 リニューアルした話題の本館学食

**金崎** 三崎町界隈はものすごいグルメスポットだけど、最近リニューアルした本館学食も負けていません。ぜひとも利用してほしいおすすめのスポットです。



女子に人気のCafé de さくら

**宮崎** 「本館地下の学食」はリニューアルして、きれいになった、美味しかったと評判です。私のゼミの先生もそうおっしゃっていました(笑)。私は「さくらカフェ」が好き(正確には「Café de さくら」)。スープ、サラダ、ちょっとしたデザートがついた“日替わりパスタ”を

よく食べます。外のお店より安いし、さくらカフェはピンクを基調にした女子好みのコーナーで、実際女子が多いです。

**金崎** これは庶務課の職員さん情報ですけど、夕方4時から夜8時までやっている「夜定(よるてい)」がひと味違うらしい。たとえば親子丼だったら、注文してから作ってくれるとか。カレーライスもポークカレー週だったり、チキンカレー週だったり毎週替わるそうです。



ひと味違う「夜定」メニュー

**宮崎** 学食のいいところは、もちろん安さもあるけど、外のお店みたいに時間を気にしないところ。そこでずっと勉強していても構わないし、自由に飲めるお水やお茶もあるので居心地はいいと思います。さくらカフェもそうだし、食堂の方もそうだけど、壁際にカウンター席がたくさんあるので、ひとりでも長時間座っていられるのもうれしいと思います。

**金崎** 僕も学食の椅子は座り心地がよくて好き。ちなみに法学部にはもうひとつ、3号館地下にも学食があって、メニューも少し違います(3号館食堂は朝9時30分～夜7時営業)。



ナビゲーターの宮崎 美夏さん。  
経営法学科 3年



本館地下の食堂。壁際にはカウンター席も

## 05 寂しいときの「触れ合い術」

**宮崎** 日本大学の付属高校から進学した人と、高校からひとりだけで入学した人では、キャンパスの居心地が違うと思います。私は一応付属だったので知り合いもいたけど、その子たちとも仲良くしつつ、まずは「サークル」に入ろうと思って、新歓の行事には積極的に参加してすぐにサークルに入りました。入ったらもう歓迎コンパはあるし、そこで知り合った人に違うサークルを紹介してもらって別のサークルにも入ったりして世界が広がっていききました。  
**金崎** 「体育のクラス」はけっこう仲良くなれる。特に大宮の場合は遠距離ということもあって、「滞りにみんなまでっか行こう」というような。体を使って開放的な気分になっているから、それも触れ合いのチャンスなのかもしれない。  
**宮崎** ゼミの先輩の「触れ合い術」なんですけど、最初のガイダンスでも授業でも、とにかく「最初の何か」にはできる限り出席して、ひとりでぽつんと座っている人の横に

座りながら「ここって、何々の先生の授業ですよ〜」とか話しかける。勇気をだして、何でもない話をするのがコツだそうです。

**金崎** 地方の高校からひとりだけ入学して、最初はすごく焦ったけど、たまたま法学部の「寮」に入っていたので、そこですぐに友だちができた人もいます。

**宮崎** みんな少なからず“ぽつんと感”みたいなのを感じているんだと思うだけで、ちょっとホッとするよね。

**金崎** これは発想の転換だけど、ひとりの時間を逆手にとって、1年のときから資格の勉強をするのも有りかなと思います。

**宮崎** そうそう、私も1年のとき簿記と秘書検定を取りました。まず3号館の「エクステンションセンター」へ行ってみてください。



資格取得の関連パンフがたくさんあるエクステンションセンター

## 06 授業や自習に 疲れたら…

**金崎** 僕のおすすめは「3号館3階のちょっとした庭」のようなところですよ。さまざまな人とオープンエアでコミュニケーションできる密かな人気スポット。樹木があって、気持ちいいですよ。



3号館3階の庭園は癒し空間

**宮崎** 「10号館の屋上テラス」も人気ありますよね。広々していて開放感があって、空が大きく見えて。ベンチもあるのでお天気のいい日にはぜひ上がってみてほしい。

**金崎** 郊外の大学にあるような、広い芝生のキャンパスはないけど、ここは都市型キャンパスだから、ちょっとした

緑のある場所や自然が感じられる空間を自分たちで見つけていけば、案外あると思う。僕は図書館の裏にある「小さな公園」が気に入っています。サラリーマンの人に混じってぼーっとするのも、なんかいい。

**宮崎** 私も賛成。せっかく都市型キャンパスなので、外へ行ってほしいと思います。図書館のときにも話しましたが、ちょっと歩けば日本を代表するような施設や建物がたくさんあるし、利用できたりもする。すごい特権だと思います。

**金崎** 東京ドームも近いし、本の町「神保町」もすぐそこ。日本大学法学部を「拠点」という考え方も、究極のキャンパス活用術なのかもしれないですね。



図書館裏の小さな公園



神保町界隈







# 就職内定者に聞く

## 老若男女が行き交う「駅」を仕事に だれからも頼りにされる駅員をめざしたい

内定先の東武ステーションサービス(株)は、東武鉄道グループの、駅でのサービスを担う会社です。1年生の春休みから3年間、自宅の最寄り駅でアルバイトを続けるなかで、駅員を職業にするのも面白そうだなと思うようになりました。

駅というのは、老若男女、さまざまな年齢の人が行き交うところで、駅員はそうしたお客様と触れ合うことができる。そこが僕にとっての「駅で働くこと」の最大の魅力です。もうひとつは、駅での仕事というのが、ひとりではなく他の駅員の人たちと協力して仕事だということです。法桜祭の実行委員として3年間活動したこともそうですが、何事も、みんな協力して進めていくことが好きなタイプなので、そこも自分に向いていると思いました。

就職活動は、最初から関東圏の鉄道会社に絞って行ったのですが、いま思えばもう少し他業界も広く見てみた方がよかったかなと、その点は反省しています。ゼミの仲間たちに比べると受験した会社も少なく、内定もひとつだけだったので少し余裕がなかったです。

駅で働く上で、時間を厳守することは大前提ですが、もともと集合時間よりずっと前に行く方なのでその点は自信もっています。駅員がたくさんいる中で、「あの人の聞けばわかる」とお客様に思ってもらえるような、みんなから頼りにされる駅員になりたいと思います。



政治経済学科 4年 長澤 史拓



## 海外で仕事がしたい、との思いを決定づけた カナダ留学。そこで得た積極性と英語力を糧に

日産自動車に採用が内定しています。最初から自動車メーカーを選んだわけではなく、海外で仕事がしたい、というのが一番の希望でした。

海外への思いが強くなったのが、3年次を休学して行ったカナダ留学です。全国大会に出場するような高校のサッカー部で三年間部活に励んでましたので、勉強というよりも、サッカーをがむしゃらにやってきました。留学前はTOEIC460点程だったのですが、最初が低かったぶん2か月で驚くほど伸びました(笑)。高校、大学とサッカーをやっていたので、留学先でもチームに入りたいと思い、片言の英語で片端から電話をかけて「チームに入れてくれ」と。ことごとく断られた中で、トルコ人監督のチームが受け入れてくれました。もともと自分から積極的に何かをするタイプでは

なかったけれど、とにかく自分からアクションを起こせたこと、世界各国のチームメイトとサッカーができたことは、留学の大きな収穫だったと思います。

帰国してから独学で英語の勉強は続け、TOEICの点数は倍近くに。また、日本で行われたIMF総会でアルバイトをしたり、神田外語大学の学生英語プレゼン大会に出場したりして英語力を磨き、企業にアピールできる実績を積んでいきました。約半年の就職活動の間に、モチベーションが下がりが投げやりになった時期があります。そのとき、ゼミの先輩が「いま数か月を苦しむのか、満足できない結果でその先の何十年苦しむのか。どちらを選ぶのか」と。その言葉で、再びがむしゃらに取り組むことができました。ゼミ仲間との情報交換や励まし合いも、就職活動の大きな力になったと思います。



経営法学科 4年 渡邊 峻平



# 留学生に聞く

## 北京の近代化を手助けしてくれた日本の企業 いつか新興国の発展に貢献することが夢に

中国・北京の出身ですが、4歳から10歳の幼少期を日本で過ごしました。中国で大学教員をしていた父が、日本の大学へ研修に来たあとそのまま日本の大学院へ入り、両親が共働きだったので私は日本人が通う保育園へ。日本語がまだしゃべれなかったのに、いきなり(笑)。でも、周りはやさしい人ばかりで、すぐに友だちになりました。

2000年に10歳で中国へ帰ったときのショックは忘れられません。ちょうど北京オリンピックの開催が決まった年でしたが、私の目には北京はとんでもなく田舎に映りました。街は汚いし、ルールもないし、遊ぶものもない。でも、2008年の開催年には、北京は世界の人が驚くほど先進的な都市に変貌していました。その変化の過程を見ながら、中国の企業だけではぜったいに無理だと思いました。日本や韓国や欧米の企業が手助けしてくれたからだと思いますが、中でも日本の製品の品質がいいことや、技術力がすごいことを感じて、いつか日本の企業へ就職したいという夢をもつようになりました。

日本大学法学部での3年間を振り返って、一番たいへんな経験をしたのは「ゼミ」です。たとえば、

企業に電話してアポイントをとる役割があるのですが、外国人ということもあって、なかなか趣旨が伝わらないことや、電話口で冷たくあしらわれたことも。そんなとき、ゼミの先生や先輩が「あきらめないで、しっかりアポイントをとろう」と励ましてくださって。最終的には、ゼミに入って本当によかったと思います。だいぶ電話のコツもつかんで、就職活動では役にたっています。

将来は日本のIT業界に入り、SEの仕事をしたいと思っています。海外、特に新興国でインフラを整えるような仕事に携わって、現地がより豊かになるお手伝いをしたいです。田舎だった北京の近代化を日本の企業が手助けしてくれたように。



経営法学科 3年 李 雅麗(り・やり)

出身/中国 北京

留学の目的/日本の大学で知識と技術を身につけて、日本の企業に就職したい

大学生活以外のチャレンジ/東京ドームホテルのレストランで3年間アルバイトを続けて、生活費をほぼまかかったこと

日本の学生へ/日本人は中国人と比べて穏やかで話もしやすいけれど、1年、2年生の間はあまり友だちもできなくて寂しかった。もっと話しかけてほしかった

法学部キャンパスで好きな場所/ゼミのグループワークをするときは、10号館3階のラウンジが静かで、活発に議論できるので気に入っています

## 福祉先進国スウェーデンへの交換留学 自分の探求したいものを追い求めようと決意

2012年8月から約1年間、ストックホルム大学で交換留学を経験しました。スウェーデンの首都、ストックホルムは歴史の感じられる建物と自然が共存する美しい街。水の都としても知られ、夏には友だちとカヌーで水路を巡り、水上から市庁舎を眺めたことは忘れられません。ジブリ映画「魔女の宅急便」の舞台としても有名です。

そんなロケーションに立地するストックホルム大学で、社会福祉を勉強しました。もちろん学習面でも多くのことを学びましたが、それ以上に日々の生活を通して、それまでの自分の価値観が大きく変わっていきました。ひとつは、人間に国籍や人種の壁はないということ。たとえば、授業後に友人たちとバーへ行って、他愛の無い話をし、人生の悩みなどを語り合うとき、日本人と通じるものが多く、「人としての根源的な部分は日本人も外国人も基本的に一緒なんだな」と感じました。もうひとつは、他者との対比よりも自己の意志に重きを置くスウェーデン人の生き方に触れられ、僕自身も「一度しかない自分の人生において、自分の探求したいものを、できる限り突き詰め、追い求めていこう」と

思うようになったことです。最後に、人間の本质は基本的に同じであると言いましたが、一方で、欧州ならではの文化の多様性を体感できたことも貴重でした。

この交換留学を経験して自分が変わったと思うのは、勉強に対して貪欲になったこと。哲学や西洋の芸術、特に絵画にも興味も広がり、現在勉強しているところです。留学のおかげで、卒業後は海外の大学院へ入学する進路も決まりました。また、2月1日から24日まで、民放連のアルバイトでソチオリンピックに参加し、カーリング担当として、解説者と現場に同行するという貴重な経験にも恵まれました。僕自身、すっかりカーリングの魅力にはまっています(笑)。



政治経済学科 4年 寺島 尚志

留学先/ストックホルム大学

留学の目的/福祉先進国スウェーデンで福祉政策を学ぶこと。非英語圏の人々が第二言語として話す英語にも慣れること

交換留学のきっかけ/1年生のときに参加した法学部主催のヨーロッパ研修旅行。特に提携校の現地学生との交流会

キャンパスライフで楽しかったこと/趣味でドラムを叩くので、毎週ストックホルム市内のジャズクラブでジャムセッションに参加。また別のジャズバーで2時間ほど演奏したり、音楽好きの友だちと学生寮の庭などで晴れた休日に演奏を楽しんだりしたこと

カルチャーショックだったこと/日本ほど食文化が豊かでなく、主食のポテトとお肉の組み合わせが中心だったこと。消費税が25%と高く、学生の身に外食は限られたこと。冬は10時に日の出、15時には日没すること